

# 薬科学専攻博士課程前期課程

## カリキュラム表

科目区分	科目名	配当 回生	開講期間	必修 / 選択	単位数	開講 年度	備考	
専門科目	コア	薬品分子創製化学特論	1	春	選択	2		オムニバス
		生体分子解析学特論	1	春	選択	2		オムニバス
		薬物動態解析学特論	1	春	選択	2		オムニバス
		生体機能薬学特論	1	春	選択	2		オムニバス
		薬物作用解析学特論	1	春	選択	2		オムニバス
		分析神経科学特論	1	春	選択	2		オムニバス
		生命有機化学特論	1	秋	選択	2		オムニバス
		公衆衛生・国際保健特論	1	夏期集中	選択	2		オムニバス
		研究開発・知的財産特論	1	夏期集中	選択	2		オムニバス
	専門英語	1	秋	選択	2			
	選択	医療情報分析学特論	1	秋	選択	2	奇数	
		医薬品安全評価学特論	1	春	選択	2	奇数	
		創剤学特論	1	秋	選択	2	偶数	オムニバス
		病原微生物学・感染症学特論	1	春	選択	2	偶数	
		分子生物薬剤学特論	1	春	選択	2	偶数	オムニバス
		臨床治療学特論	1	春	選択	2	奇数	
		幹細胞生物学特論	1	秋	選択	2	奇数	オムニバス
		生理・構造生物学特論	1	秋	選択	2	偶数	オムニバス
		生活習慣病特論	1	春	選択	2	偶数	オムニバス
		薬用資源学特論	1	秋	選択	2	奇数	
臨床副作用学特論		1	秋	選択	2	偶数	オムニバス	
分子病態学特論	1	春	選択	2	奇数	オムニバス		
薬科学研究科目	演習	演習1	1	春	必修	2		
		演習2	1	秋	必修	2		
		演習3	2	春	必修	2		
		演習4	2	秋	必修	2		
	特別実験	特別実験1	1	春	必修	2		
		特別実験2	1	秋	必修	2		
		特別実験3	2	春	必修	2		
		特別実験4	2	秋	必修	2		
自由科目	技術者実践英語特論	1	春	選択	2		修了に必要な単位にはカウントしません	

※開講年度の「奇数」は奇数年度、「偶数」は偶数年度に開講します。

## カリキュラムマップ

カリキュラムマップは、科目とディプロマポリシーの対応関係を一覧にしたものです。

科目区分	科目名	科目ナンバリング	ディプロマポリシー						
			知識			技能			
			医薬品等の創製を中心とした薬科学の専門知識を有する。			高い倫理観を持って医薬品等の研究開発や教育研究、衛生行政に貢献できるような、問題発見・解決能力、論理的思考能力を有する。	論理的な学術論文の作成やプレゼンテーションができる。	国際社会で活躍するために、薬科学分野の専門知識を用いた英語での基本的なコミュニケーションができる。	
	化学・物理系	生物系	衛生行政系						
専攻科目	コア	薬品分子創製化学特論	GPHPM20C0101J	○					
		生体分子解析学特論	GPHPM20C0102J	○					
		薬物動態解析学特論	GPHPM20C0103J		○				
		生体機能薬学特論	GPHPM20C0104J		○				
		薬物作用解析学特論	GPHPM20C0105J		○				
		分析神経科学特論	GPHPM20C0106J	○	○				
		生命有機化学特論	GPHPM20C0107J	○					
		公衆衛生・国際保健特論	GPHPM20C0108J	○	○	○			
		研究開発・知的財産特論	GPHPM20C0109J	○	○	○			
	専門英語	GPHPM20C0110J						○	
	選択	医療情報分析学特論	GPHPM20SE101J			○			
		医薬品安全評価学特論	GPHPM20SE102J			○			
		創剤学特論	GPHPM20SE103J	○	○				
		病原微生物学・感染症学特論	GPHPM20SE104J		○	○			
		分子生物薬剤学特論	GPHPM20SE105J	○	○				
		臨床治療学特論	GPHPM20SE106J		○				
		幹細胞生物学特論	GPHPM20SE107J		○				
		生理・構造生物学特論	GPHPM20SE108J	○	○				
		生活習慣病特論	GPHPM20SE109J			○			
		薬用資源学特論	GPHPM20SE110J	○					
		臨床副作用学特論	GPHPM20SE111J		○	○			
		分子病態学特論	GPHPM20SE112J		○				
		研究科目	演習	演習1	GPHPM20PR101J				
	演習2			GPHPM20PR102J					○
	演習3			GPHPM20PR201J					○
	演習4			GPHPM20PR202J					○
	特別実験		特別実験1	GPHPM20RE101J				○	○
特別実験2			GPHPM20RE102J				○	○	○
特別実験3			GPHPM20RE201J				○	○	○
特別実験4			GPHPM20RE202J				○	○	○
自由科目	技術者実践英語特論	GPHPM20FR101J						○	

## 科目ナンバリング

科目ナンバリングは、授業科目に当該科目のカリキュラム上の位置づけに対応する番号を付すことで、学生が科目の系統履修および修了要件充足の自己管理を容易にするためのものです。

## 科目ナンバリングの基本フォーマット

G	P	H	P	H	1	4	M	E	1	0	1	J
研究科	専攻	カリキュラム年度		科目区分	配当回生	分類番号	使用言語					
①	②	③		④	⑤	⑥	⑦					

## 科目区分ごとの必要単位数

本研究科が定めた修了要件、すなわち標準修業年限以上在学し、所定科目 30 単位以上の修得と本研究科が定める学位（修士）論文評価基準にもとづく修士論文審査の合格に達することにより教育目標が達成されたとみなし、これをもって修士（薬科学）の学位を授与することとします。

専門科目（コア）より、8 単位以上（うち、履修する専門分野の特論 2 単位および履修する分野以外の特論 2 単位以上）、専門科目（コア）および専門科目（選択）からあわせて 14 単位以上、「演習（8 単位）」および「特別実験（8 単位）」を必ず履修しなければなりません。

科目区分		必要単位数	合計
専門科目	コア	4 単位以上 (履修する分野の特論から 2 単位、それ以外の分野の特論から 2 単位以上) 8 単位以上	14 単位以上
	選択		
薬科学研究科目	演習		8 単位
	特別実験		8 単位
			30 単位以上

※自由科目は修了に必要な単位に含めない。